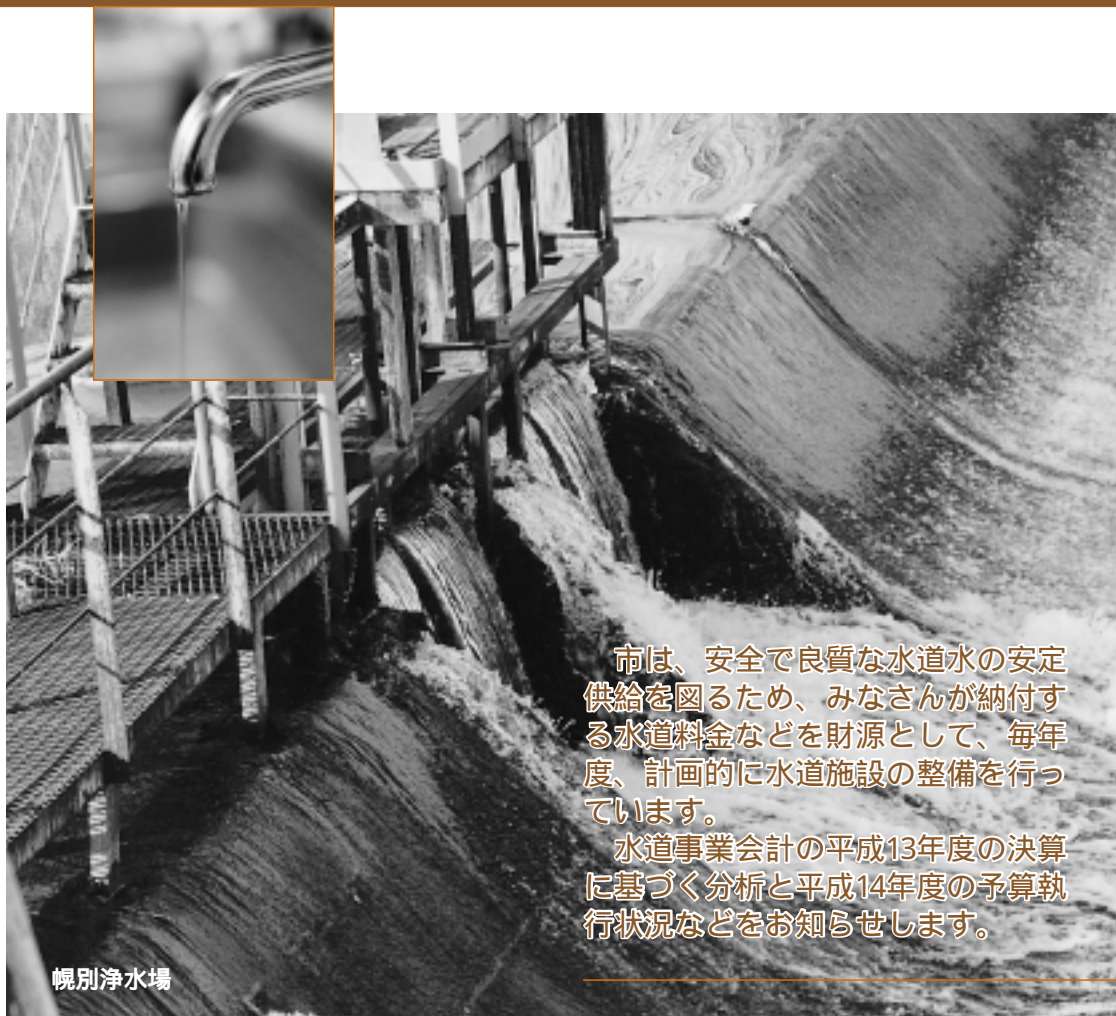


水道事業の経営を みてみよう



幌別浄水場

市は、安全で良質な水道水の安定供給を図るため、みなさんが納付する水道料金などを財源として、毎年度、計画的に水道施設の整備を行っています。

水道事業会計の平成13年度の決算に基づく分析と平成14年度の予算執行状況などをお知らせします。

平成13年度の損益計算書を見てみよう

損益計算書【9ページ表1】をご覧ください。

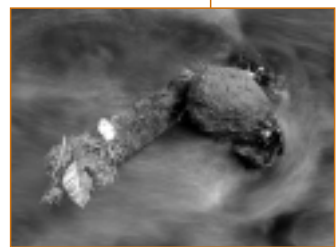
この表は、1年間（平成13年4月～14年3月）に得た収益とそれに対する費用を表したもので、どのような経営活動によって、どれだけ経営成績（純利益または純損失）を上げたかを示したものです。

この計算書に基づいて、経営を分析し、将来の経営の参考にすることが出来ます。

『収入の部』は、事業の基本商品である『水道水』の料金が約93億円を占めています。その他の7億円は、給水設備の新設負担金や下水道使用料の徴収受託料などです。

一方、『支出の部』は、室蘭市からの受水費や配水管などの維持管理費、人件費などの営業費用が約81億円を占めています。その他の19億円は、国などからの借入金に対する支払利息などです。

この結果、収入が支出を90万円で回っているため、平成13年度は黒字となります。



決算から水道事業の経営を分析しています

水道事業は、税金を財源としている一般会計などと違い、水道料金を主な財源として運営する『公営企業』です。その経営の原則は、民間企業のように常に合理的かつ能率的な活動が求められています。

このことから市は、決算の数値から経営に関するさまざまな分析を行っています【9ページ表2】。

平成14年度の
予算執行状況

4月から9月までの予算執行状況は、9ページ表3のとおりです。

【営業活動にかかる収支】

収入は、長引く景気の低迷や人口の減少などで、使用水量が落ち込んだ前年度と同程度となっています。

一方、支出は、予算の約28億円が年度末に経理を行う減価償却費などのため、執行率は約31%となっています。

【施設整備にかかる収支】

収入は、予算の約98億円が国などからの借入金です。そのお金は年度末に交付されるため、執行率は0.8%となっています。

一方、支出は、配水管の改良などや配水池建設の主要工事がまだ完了していないため、執行率は約36%となっています。